

湖北



発売中の長浜浪漫パスポート

選ぶ施設の組み合わせ次第で最大2200円（盆梅展時は最大2500円）の得になる。対象施設

長浜市内の観光施設をゆつくり周遊してもらおうと、長浜観光協会は便利でお得な「長浜浪漫パスポート2021-22」を販売している。有

効期限は22年9月30日まで。参加する主要な15の観光施設から自由に5施設を選んで入場できる仕組み（1施設1回のみ）。料金は1200円。

は、慶雲館（盆梅展時也可）やヤンマーミュージアム、曳山博物館、人気の高い海洋堂フィギュアミュージアム黒壁などがある。

また、パスポートを提示すれば市内40力所の店舗・施設で割引などの特典がある。長浜駅観光案内所や入館対象施設、道の駅などで販売。WEBやコンビニでデジタル版パスポートの購入もできる。【長浜通信部・長谷川隆広】

長浜

最大2200円お得。観光施設パスポート発売

下坂氏館跡を幻想的にライトアップ

長浜



ライトアップされた下坂氏館跡

国指定史跡北近江城館跡群の「下坂氏館跡」（長浜市下坂中町）で10月23、24日に夜間特別開館が行われた。ライトアップされ、史跡が幻想的に浮かび上がった。

り協議会、下坂氏館跡を守る会が連携し、初めて企画した。下坂氏は室町時代の豪族で、戦国時代には浅井家に仕えていたとされる。館跡には江戸時代後期建築の主屋と、それを取り囲むように土塁が残っており、戦国時代の屋敷構えが現存する。敷地に菩提寺の不断光院も建っている。同館は通常土日祝限定で日中に一般公開している（12月2月は休館）。守る会の梅本修会長は「幽玄の美をテーマに史跡を照らした。これを機にもっと多くの人に下坂氏館跡を知ってもらいたい」と話していた。【長浜通信部・長谷川隆広】

湖東

彦根

赤い羽根共同募金で「ひこにゃん」バッジ

彦根市共同募金委員会（菊地美和子会長）は10月から始まった募金運動に合わせ、今年も地元キャラクター「ひこにゃん」をあしらったピンバッジを作成した。2017年度から企画している。今年のサイズは縦22ミ、横27ミ。交差した赤い羽根の上に満開のサクラやウメ、国宝・彦根城が浮かび、ひこにゃんが刀を掲げている。彦根城の世界遺産登録も目指してデザインされた。8000個作られ、5

00円以上の募金者がもらえる。彦根市平田町の市福祉センター別館（0749・22・2821）のほか、市内の主要ホテル・土産物店などで取り扱っている。彦根市本町の夢京橋あかり館、四番町スクエア四番町ダイニングなど市内9カ所に、500円でバッジを出せる「ガチャガチャ」も設置する。【彦根通信部・伊藤信司】



伝統建築で近江牛店多賀大社表参道

彦根

千成亭風土（本社・彦根市）は今秋、多賀大社表参道絵馬通りにある伝統建築を改修し、近江牛料理店をオープンした。店名は「せんなり亭伽羅多賀別邸」。八つの個室（計51席）で焼き焼きステーキなどを味わえる。

同社によると昭和10（1935）年ごろに建てられた木造2階建ての離れ座敷を購入。当時の障子やふすま、ガラス戸も残し、レトロ感あふれる店にした。外壁は縦板張り、広縁が三方を巡っている。周囲は高塀で囲われ、隣接する白壁の町家、蔵などとともに門前町の歴史的景観を形成している。現在、有形文化財登録も申請中という。近江鉄道多賀大社前駅から徒歩5分。昼の部は午前11時から午後3時半。夜の部は予約制で午後5～9時。祝日を除く月、火曜は定休。問い合わせは0749・48・1129。【彦根通信部・伊藤信司】



近江牛店「せんなり亭伽羅多賀別邸」の外観